

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	伸栄学習会相之川教室		
○保護者評価実施期間	2024年11月01日	～	2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数)
			14名
○従業者評価実施期間	2024年11月01日	～	2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)
			5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援	地域で40年以上学習塾を運営してきた。そのため対面で学習支援を行うことにノウハウが蓄積されている。週1回教室長が集合し研修を行い、児童の学習支援に対して指導・研鑽を実施している。	学習指導の品質を向上させるため、社内研修を強化していく。児童が喜びを持って学習できるよう指導方法の工夫や職員間で成功体験の共有を実施していく。
2	多職種連携	伸栄学習会グループとして放課後等デイサービス・児童発達支援の他に、学習塾、通信制高校、就労継続支援B型、訪問看護などを展開している。教員、看護師、保育士などそれぞれの分野の専門職が集合し伸栄学習会グループ内で情報連携や研修、研鑽を実施している。	それぞれの専門性をさらに発揮させるため、資格取得の推進や社内情報連携の体制を強化していく。
3	イベント	定期的に各教室・グループでイベントを開催している。上部構造(教科学習)のみではなく、自立支援と日常生活の充実、創作活動、地域交流、余暇(下部構造)の支援を行うことで「生涯、喜びをもって学び続ける人間を育てる」というミッションを達成できるよう取り組みを行っている。	児童や保護者のニーズに合ったイベント開催ができるよう日々の面談等で聞き取りを強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	イベント開催の際には地域新聞等を活用し地域住民にも参加をして頂けるよう取り組みを行っている。ただ、まだ十分地域住民に情報が行き届いていないように思われる。	地域新聞以外の宣伝方法を検討する。
2	保護者同士の交流	アンケートでは保護者同士の交流の機会が少ないという意見が見られた。弊社としては親子イベントの開催などを取り組んできたが十分ではないという反応の現れであると考え。	複数回開催など、保護者が参加しやすいような開催方法を検討する。
3			